

## 【0歳からの運筆へ繋げる知育玩具】指育フェルトシリーズ まんまるまるちゃん



(意匠登録済)

ご購入いただき本当にありがとうございます。

子どもが将来、自分の可能性を誰よりも信じ、欲しい未来を手に入れる力、諦めない力を身に付けることを目指してこの教材を考案しました。

### 夢を叶える器用なカラダと諦めない強いココロ

この両輪を兼ね備えて行って欲しい

「やりたい」を叶える身体作り

「できた」の積み重ねは大きなやる気

幼少期からの家庭の自律から社会の自立へ！！

一つで何通りにも展開できる。そして子どもたちに愛してもらえるものになってほしい。教材たちをどうぞ可愛がってあげてください。

教材について詳しく解説していきますので、ゆっくりしっかりご覧いただきご活用していただけたら嬉しいです。

ご不安なこと・ご不明なことなどはいつでもご連絡くださいね。 [info@angelicsmile-baby.com](mailto:info@angelicsmile-baby.com)

中島優子

= この教材から得られる結果 =

オリジナルソング 「まんまるまるちゃん」

「さんかくさんちゃん」

「しかくのかくちゃん」

鉛筆が使える。ハサミが使える。字が書ける。そんなすべての器用さは身体のバランス感覚によるもの。細かいことばかりに取り組むのではなく、運動や身体の動きをしっかりとプラスすることが結果大きな器用さが手に入るのです。

#### 1) スプーン・箸の持ち方が分かる



よくある質問「スプーンはどう教えたらいいのでしょうか？」

答え : **食事中に教えるのはおススメしな—い！！**です。

スプーンや箸のご相談が本当に多い。

ほとんどのお子様は写真のように握った状態「グー上手持ち」でスタートします。

これがいけないのではなく、むしろ普通♪

でもそのままにしておくこと。いつか子どもが直すまで待つこと

小学生になっても上手持ちしている子はほとんどいないので、「お母さんの期待するいつか・・・」

は

確かにやってきますね。

でも・・・子どもたちが学ぶ基礎作りとしては、そのままにしておくことはおススメできない。

「**そのまま**」はいつ自然に・・・ですから。

子どもが「やりたくなる」そんなきっかけ作りをしていきます。

じゃあ・・・どうしたらいいのか???

答え : **食事中に教えるのはおススメしな—い！！**

食事は楽しく食べてほしい。家族の団欒の場であってほしい。

食べ方ばかり注意したりすることはおススメできない。これが多くの子どもたちの成長を見てきた

私が行きついた答え。

意欲のある子ども・伸びる子どもは

家族の関係・特に親との関係が良好であること

そして基本的な生活習慣が整っていること

持ち方よりも食事、人間関係を優先することをおススメします。

#### ★プチポイント①

食事中は何度も注意しないこと。

スプーンやフォークを渡すときに、一回だけ正しい持ち方で渡す。

たったこれだけ。何度も強要しない。



★プチポイント②

お口の近くで食べ物を乗せたスプーンを渡す。

このくらい短い距離がおススメ♪ 手に持ったら、お口にパク



大抵、スプーンを口に入れる前にひっくり返してしまうのでなるべくお口の近くで正しい持ち方で渡してあげてね。

ちょうどよい形でスプーンを口に入れられるようになる。

これも食事が上手にできる器用な指先のステップのひとつですよ。

地道に・・・取り組んでくださいね。

## 教材はどう使う？

### ①持って振るだけで、これだけで正しい持ち方の基礎♪



なんとなく持たせている時 **X** になりがち。

遊びの時はそれでいいです。

意識して持たせるときは、まるちゃんに挨拶しながら持ってみてね。

まずはここがスタートです。

まずはキャラクターが上にくるような持ち方を習得

⇒これが結果、下手握りに繋がります。

お子様のカトラリーを購入するときに参考にしていただけたいと思います。

柄のところにキャラクター

があることで持ち方を気を付けるきっかけになりますからおすすめです。

## ②しっかりと降ること

手首の可動域を増やすこと。年々、手首が固い子どもたちが増えてきている。

そんな子どもたちがどうなるかというところ・・・運筆が上手にいかず、字が上手に書けず

小学校での連絡帳が苦痛になり、漢字が不得意だと思い込んでしまう。

もう・・・もったいない。本当にもったいない。



降って振って振りまくってくださいねー。

こんなこと・・・何の意味が??とを感じるかもしれませんが、

歩くようになるとハイハイしていたころよりもすっかり活動が減ります。

当時9か月くらいのこの子がどうなったかというところ・・・

なんと1歳半で鉄棒、足抜きまわりを始めたというびっくりな効果

## ③こんな100均グッズも大活躍です。



是非、これを見られたらすぐに買いにでてくださいね。

スプーンの柄にキャラクターをボンドでくっつけました。

「くまさん」見えているかな～なんてお話をすることで

上手握りを防止

まるちゃんたちを持つように、「くまさん こんにちは」とご挨拶をして

から遊びに取り組んでみてくださいね。

下の写真の状態で遊びを始めたなら、早い段階で徐々に移行していけるといいですね。

正しいスプーンの持ち方を遊びの中で早めに手に入れることが、2歳で箸を上手に持てるコツです。



この遊びを続けてくださった皆様は・・・2歳のお誕生日にはこのようにお箸が持てるようになっています。2歳までに補助器具なしで箸が持てること。脳科学の澤口先生がお話するに・・・

その後の知能発達に大きく差をつけた効果があると言われてしています。

4歳で補助なしで箸が使えるお子様と前頭前野の発達は違う。そう話しています。

前頭前野の発達は社会性をも意味します。人とのコミュニケーション能力を伸ばしていきたいとお考えであれば是非、取り組みをしてみてくださいね。



## 2) 図形に興味を持つ



この世に存在するすべてのものはいくつかの図形が基礎となり、存在しています。

そんなちょっとしたことに目が向けられる豊かなココロ

小さなうちから様々なことに興味関心を示すココロの基礎作りをすることで

情報をキャッチする力、処理する力、自分なりの答えを導き出す力が育ちます。

○△□は図形の基本

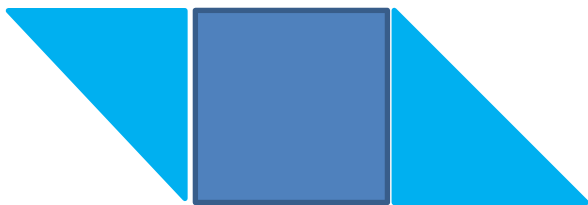
子どもたちの図形の入り口です。

台紙フェイルとの上に置く。そんな単純な遊びです。

「まんまるちゃん おうちに帰るよー。」と置いてみてくださいね。

ここからは参考までにお読みくださいね。

まず平行四辺形を考えてみてください。

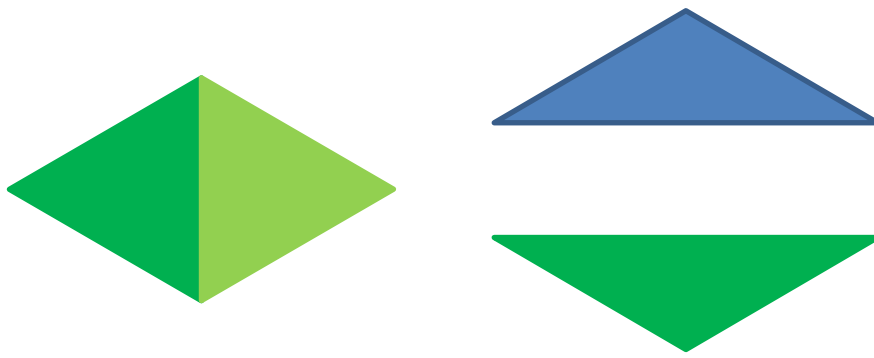


・・・ね。四角形と三角形でできているでしょ♪

基礎ができていれば、こんなことに簡単に気が付く脳が育つ

他には・・・ ひし形

三角形二つでできているーと気が付くでしょう



すると・・・公式いらずで子どもたちが考えだすことができます。

幼少期から・・・たくさん体験させてみてくださいね。

まずは・・・形を合わせるということをしてみてくださいね。

図形って本当に素晴らしい——と中島個人的に考えています。

## 公式を知らなくても導きだす力を育てる

では・・・毎回お決まりの・・・

## 言葉の獲得 魔法の3ステップ

今回は形ね♪

お子さんが手にしたときに魔法の3ステップで言葉にして聞かせてみてくださいね。

《予告》

①遊びのきっかけ作り 「まんまる まるちゃんだよ。」

《現在形》

②遊びのきっかけ 「まるちゃんー。はいどうぞ。」

《過去形》

③おしまいの合図言葉 「まんまるまる 楽しかったねー。お片付け。」

①～③までの3ステップを0歳から丁寧に行うことで2歳になった時の語彙力は劇的に増加傾向が見られます。

発語は身体作りも大きく関係してきますので、気になる方はこちらを参考にしてください。

[0歳からのオンラインプログラム](#)

大切な我が子のココロを守り、思いやりを育てる「**origami ココロワーク**」を参考に！！

[「origami ココロワーク」のPDFはこちらから](#)

### 3) 運筆に繋がる手首が育つ

歌に合わせて台紙の形の縁取りを取る遊びをしてみてくださいね。

文字書きの手順

- ①塗り絵
- ②縁取り
- ③迷路
- ④重なりに気が付く
- ⑤文字書きスタート

いきなり平仮名習得を目指すこと。これが子どもの自信には繋がりません。

徐々に・・・気が付いたら、「あれ？」できる！！を目指していますので、是非取り組んでみてくださいね。

こちらの動画で確認くださいませ♪

[まるさんかくしかく](#)

### 4) 平仮名に繋がる視力が育つ

平仮名が書けるって・・・手順さえ踏めばラクラク簡単

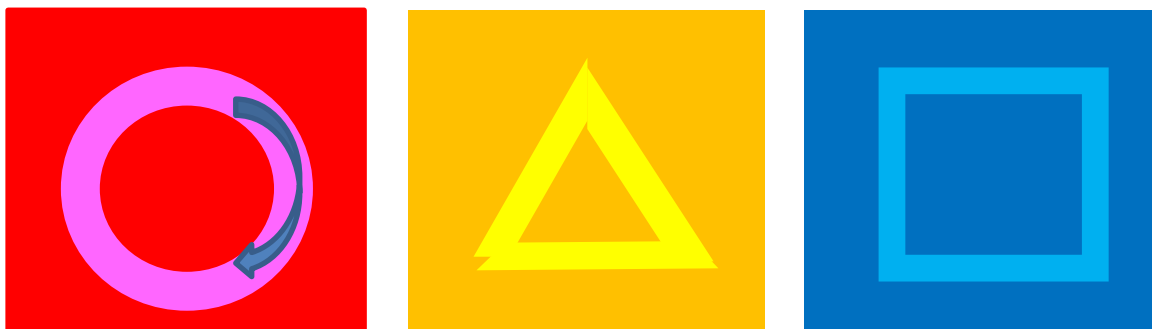
世の中のほとんどの人が知らない。そして、ほとんどの人が伝えていない決定的な習得手順



## 「先を見る視力の違い」

この力を手にすると・・・実は平仮名を書き始めた時のお悩みが驚くほど減る。

台紙のピンク・黄色・水色の部分をまるちゃんたちの柄でトントンしてみてくださいね。



台紙での線を見ることができるようになったら・・・

線歩きをしていきますよ。

## 線歩きの先にあるもの

## 誕生秘話



0～10歳までの幼児教室をしていると・・・

子どもたちの成長を目の前で見せてもらう。

するとどうでしょう。

取り組みの前に、鉛筆を持つことができない。

上手に持つことができない子が多すぎる！！

すると・・・どうでしょう。

平仮名がうまく書きたいのに、書けなくて怒ってしまう。

なんとか平仮名を習得したとおもったら、カタカナがきて

漢字を覚えなきゃ・・・汗

文字を書くということにネガティブ思考のまま

漢字に突入した子たちはなんと国語が嫌いになってしまう。

あ～～～勿体ない。

ただ・・・文字を書くことが苦手なだけが、国語嫌いって！！

なんで～～～～。

一度、嫌いと思ってしまうと文字を書くとかの問題でなく

まず・・・自信を持ち直してもらうことから取り組まなきゃいけない。

こんな子どもの姿を見てきて、ほとんどの原因は・・・

**文字を書ける器用さが育っていないーーー！！**



正しい持ち方ができていない。

鉛筆を囲い込みながら持つ子がどうしてこんなに多いんだ・・・。



するとね。

何が起きるかというと・・・

鉛筆の先が自分の方を向いてしまう。

これ・・・平仮名・漢字のはらいが上手にできないなど

不都合なことが起きてくる。

もちろん、自分で気づいて直していけばいいだけ。

でもね。多くの子が小学生になって持ち方を変える！！という選択をしない。

大人になって自分で変えた・・・という方は良く聞きますけど・・・小学生では難しいのが現状！！

・・・となったら、正しい持ち方を早めに知り、選択する自由を持ってほしい。

緊急に迫られた事項と自由を与えられた思考



知らない事と知っている事

ちょっとした遊びだけで、文字を書くことが好きになる。

そんなことを知っているお母さんが少し遊びに取り入れるだけで

子どもの取り組みが楽に楽しくなる可能性が大きい。

あ———そんなお得な仕組みを知らなかった———とならないように

是非、8 か月ごろから取り入れてみてくださいね。

### 教材を買ってくださったあなただけへお伝えしたいこと

実は・・・この鉛筆が上手に持てない子たちのその時とその後を追ってみました。

なんと・・・字がうまく書けないだけでなく・・・実は点と点（点描写）なども指先も空間も扱う

ようなワークはできないのですよ・・・。

点描写ができない子（点描写については知らない方は検索してみてくださいね）

見本と解答欄を交互に見るとのこと・見比べること

これは追従性眼球運動や跳躍性眼球運動といった目の動きが必要です。

また同じ点からスタートして縦や横、斜めといった線を描いていくことは空間認知能力も必要になってくるのです。

指先が未発達な子は同時にこの能力も発達しにくいということ。

これは教室の生徒たちを見ながら実感しています。

見る力を育てるビジョントレーニングにも繋がります。このあたりの基礎を作るとして是非取り組んでみてくださいね。

## ・スプーン・箸の正しい持ち方が分かる

⇒お箸が自分でできることでより食事が楽しめる

その時々に関心のあること、できることを「やりたい時にやってみる。」

**「自分でやってみることを大きな喜びに変える」小さな成功体験を積み重ねてほしい。**

## ・図形に興味を持つ

⇒この世の中は図形で溢れています。形と形の組み合わせに気が付くこと

いずれ算数、数学での**図形の発見、ひらめきの基礎作り**

## ・運筆に繋がる手首が育つ

⇒文字が上手に書ける柔らかい手首

繊細な動きが遊びながら手に入る

## ・平仮名に繋がる視力が育つ

⇒文字を見るコツ、書くコツが遊ぶだけで自然に身に付く

お母さんも遊びを見き分けるコツ・遊びの展開のコツがわかる

### 特典付き（オリジナルソング 3 曲 + 解説 PDF）

♪まんまるまるちゃん

♪さんかくさんちゃん

♪しかくのかくちゃん

の遊びが充実して、お母さんも楽しめるオリジナルソング 3 曲付き！！

そして子どもの発達についてや取り組み方の遊び解説などなんと動画 2 つ！！

## まんまるまるちゃんセット詳細



指育フェルト3点セット（まんまるまるちゃん、さんかくさんちゃん、しかくのかくちゃん）

オリジナルソング3曲

教材の使い方解説 PDF

線歩きの先にあるもの 解説動画

公式を知らなくても答えを導き出せる力を育てる 解説動画